

●学校法人α Version 6.202

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ Atlas シリーズの改良に伴い、バージョン管理改良に対応しました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人db（VERSION:6.202）の変更点**”を参照してください。

📢 注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

学校法人 d b (VERSION:6.202) の変更点

改良 (バージョン管理改良対応)

I. 通信・移動

1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

・Atlas のバージョン管理改良に対応しました。

2) マスター&データ抽出

・Atlas のバージョン管理改良に対応しました。

その他改良・修正

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

・入力中に標準税率が異なる期間の「仕訳コピー」「仕訳貼り付け」を行うと、一部の仕訳が本体に対しての税額が1つ上の仕訳の金額の税額になっていたのを修正しました。

4.1 の雑支出/現金 100 円 (内 8%) の摘要を入力中に、仕訳コピーで 11.30 の現金/売上高 2,000,000 円 (内 10%) を仕訳コピーして、仕訳貼り付けした後に他の画面に移動し、再度仕訳入力に戻った際に、税額が1つ上の本体価額の内 8%の税額になり、その状態でマウスで摘要欄をクリックして進めると間違った税額が書き込まれていました。

9	11.30	現金	売上高	2,000,000	181,818	内10
10	04.01	雑支出	現金	100	148,148	内8

2) 元帳検索

① [F11 貸借修正] を選択していない状態で、金額欄で [F10] を押して、税率の切替 (10%/8%軽減) を行った後、元帳検索を終了して再度開いたり、仕訳入力に切り替えた場合に変更前の状態に戻っていたのを正しく保存するようにしました。

金額欄で [F10] を押すと、10%→8%軽くなる。

内10	2,900,000
内8軽	5,600
内10	6,000

終了後再度開くと 10%に戻っている。

内10	2,900,000
内10	5,600
内10	6,000

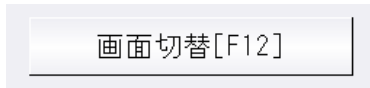
※画面上は税率欄が変更されますが、変更した税率が保存されていませんでした。

※税欄で税率を選択している場合や、[F11 貸借修正] 時に金額欄で [F10] で切り替えた場合は、正しく保存されています。

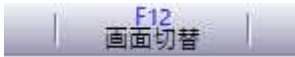
消費税の選択	1 10%	9	17	25
	2 8%軽減	10	18	26
《 消費税 》	3 8%	11	19	27
	4 5%	12	20	
	5 3%	13	21	
	6	14	22	
	7	15	23	
	8	16	24	

仕訳区分 (なし)		
税率	8%軽減	税区分 内税
売上区分		
取得課税		
対価		

- ②「マルチウィンドウを有効にする」にチェックを付けている場合に、「画面切替 [F12]」ボタンがマウスクリックで選択できないケースがあったのを修正しました。



※ツールバーの「F12 画面切替」やキーボードで **F12** キーを押した場合は選択できていました。



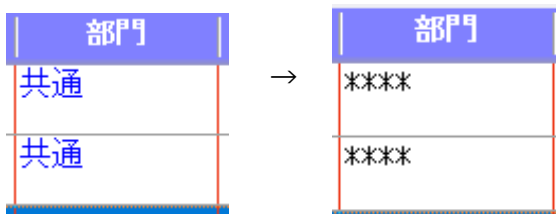
«条件»

※最大化してから、元帳⇔補助元帳の切替を行った場合

※重ねて表示で、元帳検索画面を特定のサイズにして終了、再度開いた場合

- ③借方と貸方で部門番号が異なっている場合は「****」（アスタリスク）の表示になるべきところ、共通部門を「0」番で登録して、かつ仕訳入力 of [F4 入力設定] で「部門名称を表示」にチェックを付けているとき、共通部門の名称で表示されていたのを修正しました。

※借方部門 0001 / 貸方部門 0002 と入力されている場合



3) 残高問い合わせ

- ・画面右上の月指定から日指定に切り替え、年度をまたぐ期間（12月21日～1月20日）で指定した場合、F11 発生残高を表示すると本来12月21日から31日の情報が上に表示され、1月1日から20日が下に表示されないといけないのが、12月の情報が1月より下に表示されていたのを修正しました。

4) チェックリスト

- ・「用紙サイズ：A4用紙、横」「1行出力」チェック有り、出力行数が169行の場合に、Excel出力すると169行目が出力されなかったのを修正しました。
 - ・「仕訳入力」の検索タブ画面で、項目名クリックで並び替えを行った状態で[F5印刷]を実行した場合に、並び替え順を反映させて出力するように改良しました。
- ※検索画面から、[Ctrl+F4チェックリスト]でチェックリスト画面に切り替えて印刷した場合は反映しません。チェックリスト側の指定条件で出力します。

5) 伝票発行

- ・振替伝票入力で、一部仕訳が出力されない場合があったのを修正しました。

«例»

振替伝票入力時に29行入力し、貸借不一致の状態での伝票登録を行う。

7行づつ4ページ、29行目が5ページに出力されるのが通常ですが、7行づつ3ページと22行目が4ページ目に出力され、23～29行目が出力されていませんでした。

6) 科目設定・残高登録

① 摘要登録／摘要辞書登録

- ・消費税選択に「標準-10%」を追加しました。
決算期間が令和1年10月1日以後終了の消費税改正マスターから選択可能です。

番号	摘要名称	カナ	消費税
59	諸会費	ショカイ	
60	会議費	カイギ	
61	新聞図書費	シンブ	軽減-8%
62	電力料	デンリ	標準-10%
63	電気代	デンキ	
64	駐車料	チュウシ	
65	タクシー代	タクシ	
66	名分	メイフ	
67	日分	ニチフ	
68	期分	キフン	
69	アルバイト	アルバ	
70	顧問料	コモンリ	
71	通行料	ツウコウ	
72	お菓子代	オカシ	
73	御礼	オレイ	

消費税選択 ×
 登録なし
 課税
 非課税
 不課税
 経過-3%
 経過-5%
 経過-8%
 軽減-8%
 標準-10%

② 摘要登録／科目対応摘要登録

- ・1920×1080の解像度で、摘要コード、摘要名称の文字が罫線に重なっていたのを修正しました。

③ 残高登録／科目残高登録

- ・部門の残高登録で、「科目残高へ集計」を実行したときに、部門各科目の期首残高が0円の場合でも、科目残高へ上書きするように変更しました。

※従来は部門の科目残高を0円に修正した場合は転記しないようにしていたため、科目開始残高と部門残高が不一致になっていました。

④ 残高登録／枝番残高登録

- ・入力開始月を期中にしている場合、各月の金額を累計入力しても入力した金額が保持されなかったのを修正しました。
- ・枝番検索で、ローマ字入力でカナ欄にnya（ニヤ）、nyu（ニユ）、nyo（ニヨ）等を入力しても、「ンヤ」「ンユ」「ンヨ」となっていたのを修正しました。

枝番	枝番名称
0001	ニュートロン
0002	ニュートン
0003	ニューヨーク
0004	アメリカ
0005	イギリス
0006	中国
0007	

カナ

7) 定型仕訳登録

- ・定型仕訳登録のチェックリストを Excel 出力した時に、枝番名称や摘要欄の行が不規則にずれる場合があったのを修正しました。

II. 出力

1) 仕訳日記帳

①F7 出力形式

- ・「科目欄のコード出力：枝番コードを出力／科目コードを出力／出力しない」を追加しました。
科目コードまたは枝番コードが必ず出力されていたため、出力選択を追加しました。

書式の変更

出力行幅： 通常

ページNo.の出力： なし

部門替わり時も、連番で出力する

印刷のみ

消費税区分： 出力しない

摘要文字のサイズ： 途中圧縮

科目名称のサイズ： 半角

伝票／部門No.の出力： 伝票No.を出力

科目欄のコード出力： 枝番コードを出力

水平強調線の出力： 枝番コードを出力
科目コードを出力
出力しない

Excel出力時のみ

同一日付の出力を行う

OK キャンセル

2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①消費税額試算表

- ・Excel出力すると、資産の譲渡の「土地」の科目名称が、「土地 5%」と出力されていたのを修正しました。

科目名称	損益計算書	対
土地 5%	30000000	
[資産の譲渡]	30000000	
[売上合計]	30000000	
土地	10000000	
[資産の取得]	10000000	

Ⅲ. 決算

1) 決算書

① 帳票の決算期間を西暦で表示できるようにしました。

F6 項目登録／共通

・ 暦年表示コンボボックスを設置しました。

項目登録

共通 資金収支計算書 活動区分資金収支の注記 事業活動収支計算書 貸借対照表 表紙 計算書類の注記 脚注

法人名を出力する
 各ページに出力する

横表タイトルを各ページに出力する

タイトルに年度を付加する
「平成」 2019 年度

タイトルに「(業)」を付加する

期間を自・至で出力する

ページ番号を出力する

様式番号を出力する
出力行間 60 (1/10mm)
 計算書類の注記に出力行間を適用する

出力条件 明細件

科目名の出力 均等割り

金額の発生が無い欄に0円を出力する

分類項目に網掛出力をする
 科目欄に網掛出力をする

分類項目の金額に括弧を付ける

明細出力時、補助活動収支に合計行を表示する

明細出力時、補助活動事業収支に合計行を表示する

発生が無い大科目を出力しない

暦年表示 西暦 和暦 均等割り

前頁 (F3) 次頁 (F4) OK キャンセル 適用 (A)

初期値は和暦で、西暦に切り替えると以下の箇所に影響します。

* 共通タブ「タイトルに年度を付加する」チェック ON 時のタイトル年度 入力・印刷

* 表紙タブ「タイトルに年度を付加する」チェック ON 時のタイトル年度、
「表紙表示期間」「各ページ表示期間」 入力・印刷

項目登録

共通 資金収支計算書 活動区分資金収支の注記 事業活動収支計算書 貸借対照表 表紙 計算書類の注記 脚注

タイトル 計算書類

タイトルに年度を付加する
「平成」 2019 年度

第 23 期 期を出力する

表紙表示期間
自 平成 2019 年 4 月 1 日
至 令和 2020 年 3 月 31 日

各ページ表示期間
 各ページの年月日を表紙と異なる表示期間にする
自 平成 2019 年 4 月 1 日
至 平成 2020 年 3 月 31 日

法人名 学校 サイズ 12pt

住所(上段)

住所(下段) サイズ 12pt

表紙位置 袋とじ出力の場合、表紙を左側に出力する

表紙囲み枠 タイトルのみ囲み枠

背景イメージ 無し 背景選択

表紙名選択

前頁 (F3) 次頁 (F4) OK キャンセル 適用 (A)

* 事業活動収支計算書タブ

「消費支出準備金 会計年度」 入力・印刷

※「消費支出準備金」使用時のみ

* 貸借対照表タブ

「消費支出準備金 会計年度」 入力・印刷

※「消費支出準備金繰入額」「消費支出準備金取崩額」使用時のみ

※参考※

消費支出準備金会計年度は「科目名称変更」で下記科目の「使用サイン」を○にしている場合に表示します。

純資産 - 繰越収支差額 - 消費支出準備金

基本金取崩額 - 消費支出準備金繰入額

基本金取崩額 - 消費支出準備金取崩額

* 計算書類の注記タブ 入力（表示）・印刷

下記項目は暦年表示コンボボックスの切り替えで変わります。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項	(1)有価証券の時価情報 ①総括表 ②明細表	項目タイトル 当年度 (令和 年 月 日)
	(2)デリバティブ取引	項目タイトル 当年度 (令和 年 月 日)

下記項目は手入力の基本です。暦の切替後、注記原本ダイアログの初期値へ(F12)押下でも変わりますが、注記原本を編集している場合は初期化されますのでご注意ください。

7.当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策	本文 10 行目	現在、主要な債権者である〇〇等と協議の上、令和〇〇年度から令和〇〇年度までの・・・
8.その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項	(3)学校法人の出資による会社に係る事項 ③学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	令和 年 月 日
	(6)通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引	①平成 21 年 4 月 1 日以降に開始したリース取引 ②平成 21 年 3 月 31 日以前に開始したリース取引

※下記項目は、今回のプログラムより無条件に変わります。

8.その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項	(6)通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース取引	①リスト(平成 21(2009)年 4 月 1 日以降に開始したリース取引)
		②リスト(平成 21(2009)年 3 月 31 日以前に開始したリース取引)

* 暦年表示の設定は、対応業務間及び勘定科目内訳書業務で連動します。

* 年を入力中に暦を切り替えると、設定した暦に相応する年へ変換します。

西暦年に呼応する和暦年を正しく変換するのは、1989 年（平成 1 年）～2088 年（令和 70 年）の範囲です。範囲外の値を入力している場合は上 2 桁をカットして表示します。

切替前	切替後
平成 1 年	1989 年
平成 31 年	2019 年
令和 1 年	2019 年
1989 年	平成 1 年
2019 年	平成 31 年
2019 年	令和 1 年（令和 1 年 5 月 1 日以後開始事業年度の場合）

②その他修正

- ・ F6 項目登録で、タイトル年度や表紙表示期間、各ページ表示期間の年月日、及び期が空欄の場合、次回のダイアログ起動で 0 が入っていたのを修正しました。

2) 財産目録

①帳票の決算期間を西暦で表示できるようにしました。

F6 項目登録／印刷設定

- ・ 暦年表示コンボボックスを設置しました。

項目登録
印刷設定 閉注

タイトル上部に法人名を出力する
 負債の部で改ページ
 ページ番号を出力する

出力形式の選択: 数量・備有欄なし
科目名物の出力: 均等割付
出力単位の選択: 円

現金・預金
 現金及び預金を各科目で
 現金・預金を合計で
 現金を合計で
 現金・預金で小計を出力する

明細で出力時、明細の科目名物を出力する

出力条件: 明細付
 繰出出力する

暦年表示: 和暦
西暦
和暦

出力行間: 45 (1/10mm)

前頁 (F3) 次頁 (F4) OK キャンセル 適用

3) 内訳表

①帳票の決算期間を西暦で表示できるようにしました。

F6 項目登録／共通

- ・ 暦年表示コンボボックスを設置しました。

項目登録
共通 資金収支内訳表 人事費支出内訳表 事業活動収支内訳表 閉注

法人名を出力する
 各ページに出力する
 横表タイトルを各ページに出力する
 タイトルに年次を付加する
年次: 2019 年度

タイトルに(脚注)を付加する
 期間を自・至で出力する
 ページ番号を出力する

横表番号を出力する

出力行間: 60 (1/10mm)
出力単位: 1 (円) (単位: 円)
出力条件: 明細付

出力形式: 標準通り
金額欄の列数: 三列
科目名の出力: 均等割付

金額の発生が無い欄に0円を出力する
 前額を最終列に出力する
 空白列カットする
 分類項目に網掛け出力をする
 科目欄に網掛け出力をする
 分類項目の金額に括弧を付ける
 明細出力時、補助活動収支に会計行を表示する
 明細出力時、補助活動事業収支に会計行を表示する
 発生が無い大科目を出力しない
 発生名のみを出力しない

暦年表示: 西暦
和暦
和暦

前頁 (F3) 次頁 (F4) OK キャンセル 適用

4) 予算書

①帳票の決算期間を西暦で表示できるようにしました。

F6 項目登録／共通

- ・ 暦年表示コンボボックスを設置しました。

項目登録
共通 資金収支予算書 事業活動収支予算書 表紙 閉注

法人名を出力する
 各ページに出力する
 横表タイトルを各ページに出力する
 タイトルに年次を付加する
年次: 2019 年度

タイトルに(脚注)を付加する
 期間を自・至で出力する
 ページ番号を出力する

出力行間: 60 (1/10mm)
出力単位: 1 (円) (単位: 円)
出力条件: 明細付

科目名の出力: 均等割付

金額の発生が無い欄に0円を出力する
 分類項目に網掛け出力をする
 科目欄に網掛け出力をする
 分類項目の金額に括弧を付ける
 明細出力時、補助活動収支に会計行を表示する
 明細出力時、補助活動事業収支に会計行を表示する
 発生が無い大科目を出力しない

暦年表示: 西暦
和暦
和暦

前頁 (F3) 次頁 (F4) OK キャンセル 適用

②その他改良・修正

- ・翌年度予算書（一列）において、F6 項目登録のタイトル年度、表紙表示期間、各ページ表示期間が未入力の際、空白を出力するようにしました。
- ・F6 項目登録で、タイトル年度や表紙表示期間、各ページ表示期間の年月日、及び期が空欄の場合、次のダイアログ起動で0が入っていたのを修正しました。

5) 予算内訳表

①帳票の決算期間を西暦で表示できるようにしました。

F6 項目登録／共通

- ・暦年表示コンボボックスを設置しました。

②その他改良・修正

- ・タイトル年度が未入力の際、空白を出力するようにしました。

6) 附属明細書

①帳票の決算期間を西暦で表示できるようにしました。

F6 項目登録

- ・各明細表タブごとに暦年表示コンボボックスを設置しました。（共通・脚注タブにはありません。）各明細表ごとに設定が可能で、決算書等とは連動しません。

初期値は和暦で、西暦に切り替えると以下の箇所に影響します。

* 各明細表の決算期間 印刷

* 借入金明細表「返済期限」印刷 ※入力は常に和暦です（次項参照）。

* 様式第一の二、第二の二「当初決定の年月日」「変更決定の年月日」印刷 ※入力は常に和暦です。

* 様式第二の三「基金設定計画の当初決定の年月日」印刷 ※入力は常に和暦です。

②「借入金明細表」の返済期限の設定・入力部分を変更しました。

【F6 項目登録／借入金明細表】

新規マスターで「返済期限の元号名を出力する」の初期値を ON に変更しました。

西暦の場合、「返済期限の元号名を出力する」を無効となるようにしました。

【入力】

返済期限の箇所を、元号付きの日付入力フォームに変更しました。

返済期限	
001	令和02年03月01日
001	選択なし
	令和
	平成
	昭和
	大正

7) 勘定科目内訳書

①決算書の西暦対応に伴う改良を行いました。

- ・決算帳票の西暦表示に対応したことに伴い、勘定科目内訳書の処理において表紙設定の「暦年表示」で《和暦⇄西暦》の選択を可能にしました。

暦年表示	<input type="text" value="西暦"/>
決算期間	目 <input type="text" value="平成"/>
	至 <input type="text" value="令和"/>
	2019 年 <input type="text" value="1"/> 月 <input type="text" value="1"/> 日
	2019 年 <input type="text" value="12"/> 月 <input type="text" value="31"/> 日

* 暦年表示の切替は、内訳書表紙と決算書表紙の双方で連動します。

* 表紙設定の“暦年表示”の選択は、表紙の決算期間及び各様式右上の[○年○月○日現在] の表示に反映します。

※各様式のデータ入力は常に和暦です。

②年月日または年月を入力する箇所に元号選択を追加しました。

簡素化様式（オプション設定の「平成 31 年 4 月 1 日以後終了事業年度分（記載内容の簡素化）の様式を使用する」の☑にチェックが付いている）マスターのみ、元号の入力・表示を行います。

この場合、画面上は必ず元号の入力・表示があります。

※旧様式の元号の入力・表示は従来通りとなり、下記の箇所のみ元号の入力・表示を行います。

- ⑦ 固定資産の内訳書の“売却物件の取得年月”
- ⑫ 土地の売上高等の内訳書の“売上商品の取得年”
- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書の“契約期間”

《対応様式》

下記内訳書の年月日または年月を入力する項目に、元号の選択を追加しました。

② 受取手形の内訳書	振出年月日	(年月日)
	支払期日	(年月日)
⑥ 有価証券の内訳書	異動年月日	(年月日)
⑦ 固定資産の内訳書	異動年月日	(年月日)
⑧ 支払手形の内訳書	振出年月日	(年月日)
	支払期日	(年月日)
⑨ 買掛金の内訳書（欄外登録）	支払確定年月日	(年月日)
⑩-2 源泉所得税預り金の内訳	支払年月	(年月)
⑫ 土地の売上高等の内訳書	売上（仲介）年・月	(年月)
⑮-1 地代家賃等の内訳書	支払対象期間	(年月日)
⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書	支払年月日	(年月日)
⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書	支払対象期間	(年月)

※元号を表示するスペースを設けるため、各項目のフォントサイズや列幅を調整し、年月(日)の項目の列幅を広げました。簡素化時も簡素化でない時も年月(日)の列幅が広がっている様式もあります。

《注意》

従来のプログラムで元号選択が付いていない年月(日)の項目については、改元対応時の共通仕様に基づいて元号の変換をしています。

01.01.08 ~ 01.04.30	→	平成
01.05.01 ~ 19.12.31	→	令和
20.01.01 ~ 31.04.30	→	平成
31.05.01 ~	→	令和

※今回のプログラムで各データの元号を確認のうえ、必要に応じて元号を変更してください。

・従来のプログラムで「平成」として入力していた 19 年以前のデータは、今回のプログラムで開くと「令和」と表示されます。（例：18.04.01 で入力→令和 18.04.01 で表示）

《入力画面》

①元号を選択してから年月(日)を入力、入力後は元号と年月(日)を合わせて表示します。

元号を選択 → 年月(日)を入力 → 入力後は元号と年月(日)を表示

振出年月日	振出年月日	振出年月日
選択なし 令和 平成 昭和 大正	令和01.05.01	令和01.05.01

③元号選択対応に伴い、下記の様式の入力画面について、一覧の配置を全体的に左にずらして左端の位置を様式名に合わせました。

- ⑩-2 源泉所得税預り金の内訳
- ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書
- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳

また、下記様式についても同様に一覧の左端の位置を様式名に合わせました。

- ⑭-1 役員給与等の内訳書
- ⑭-2 人件費の内訳書
- ⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書
- ⑯-2 雑損失等の内訳書
- ⑱-1～20 その他科目の内訳書② - 1～20

※旧様式、簡素化様式どちらも上記②の改良を行っております。

《例：⑩-2 源泉所得税預り金の内訳》

《バージョンアップ前》

前頁	1 / 1	次頁	改頁	頁挿入	行コピー	行貼付	行挿入貼付
源泉所得税預り金の内訳						前様式	次様式
支払年月	所得の種類	期末現在高	支払年月	所得の種類	期末現在高		
01.05	給	1,000,000					

《バージョンアップ後》

前頁	1 / 1	次頁	改頁	頁挿入	行コピー	行貼付	行挿入貼付
源泉所得税預り金の内訳						前様式	次様式
支払年月	所得の種類	期末現在高	支払年月	所得の種類	期末現在高		
令和01.05	給	1,000,000					

◀保管参照画面▶

日付欄に元号を表示します。

保管参照画面では任意で変更した列幅を保存するようにしています。

今回のプログラムで元号名・年月日の表示が切れている場合は、マウスドラッグを行って列幅を調整してください。

振出年月日	支払期日	支払銀行名称
平成31.01.01	平成31.04.30	〇〇銀行
平成31.04.30	令和01.05.01	〇〇銀行
令和01.05.01	令和01.12.31	〇〇銀行

◀印刷▶

① 今回元号選択が追加された項目の元号の出力文字数や表示位置などは、基本的に電子申告 (Atlas システム) 0 の印刷帳票と合わせています。

元号を1文字だけ印刷する場合④

②

受取手形の内訳書

令和元年12月31日 現在

振出人	振出年月日	支払期日	支払銀行		金額 円	割引銀行名 及び支店名等	摘要
			名称	支店名			
田中 太郎	平31. 1. 1	平31. 4. 30	〇〇銀行	××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	摘要
田中 太郎	平31. 4. 30	令 1. 5. 1	〇〇銀行	××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	摘要
田中 太郎	令 1. 5. 1	令 1.12. 31	〇〇銀行	××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	摘要

元号を2文字印刷する場合④

②

土地の売上高等の内訳書

令和元年12月31日 現在

区分	商品の所在地		売上 (仲介) 年・月	売上 (仲介) 先	名称(氏名) 所在地(住所)	売上 (仲介) 面積 ㎡	売上金額 (仲介手数料) 円	売上商品 の取得年
	地目	総面積 ㎡						
売上	大阪府〇〇市〇-〇〇-〇〇	100.00	令和 1. 5	大阪府××市1-11-11	田中 太郎	100.00	10,000,000	令和 1
	宅地				1,000,000			

※⑮-1 地代家賃等の内訳書の“支払対象期間”は⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書の“契約期間”に合わせた表示になっています。

物件の用途 地	貸主の名称（氏名） 貸主の所在地（住所）	支払対象期間 支払賃借料
	田中 太郎	令和 1. 5. 1～ 令和 2. 4. 30
10	大阪府××市1-11-11	100,000

名 称	支払先の名称（氏名）	契約期間
	支払先の所在地（住所）	
		令和 5. 5～ 令和 6. 6
計		

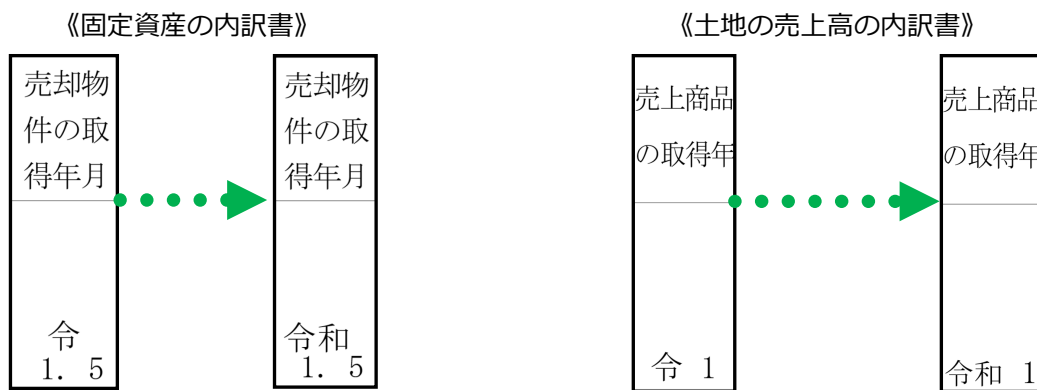
・下記の2項目は、従来より元号の選択が可能でしたが、電子申告（Atlas システム）の印刷帳票と従来の出力で違いがありましたので変更しました。

⑦ 固定資産の内訳書

・売却物件の取得年月：簡素化に関係なく、常に上段に元号2文字を印刷します。

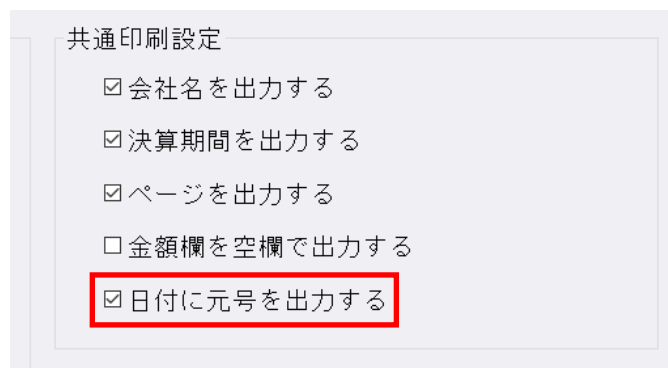
⑫ 土地の売上高の内訳書

・売上商品の取得年：簡素化に関係なく、常に日付の前に元号2文字を印刷します。



④印刷設定ダイアログの共通印刷設定に「日付に元号を出力する」の☑を設けました。

・上記の☑で印刷時、元号を出力するかしないかを選択することができます。（初期値はチェックが付いた状態になっています。）



※オプション設定の「平成31年4月1日以後終了事業年度分（記載内容の簡素化）の様式を使用する」の☑にチェックが付いていない場合は選択不可です。

※従来から元号選択があった下記の箇所については、「日付に元号を出力する」の設定にかかわらず常に元号を出力します。

- ⑦ 固定資産の内訳書の“売却物件の取得年月”
- ⑫ 土地の売上高等の内訳書の“売上商品の取得年”
- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書の“契約期間”

⑤旧様式において、下記部分の省略文字（＃等）が正しく出力されていなかったのを修正しました。

*② 受取手形の内訳書

・“振出人”の省略文字（＃等）が“割引銀行名等”の欄に出力されていました。

《バージョンアップ前》

帳票別印刷設定
②. 受取手形の内訳書

省略文字

振出人	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
支払銀行名	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	#
割引銀行名	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	#
	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#

科目、金融機関
科目名入リタイトルで印刷する
金融機関を一段で表示する
科目行を出力する

金額欄
金額の円データを出ししない
金額空欄データを出ししない
金額の円を印字する

金額欄一括変更

旧様式内訳書
平成30年12月31日 現在

受取手形の内訳書

振出人	振出年月日 支払期日	支払銀行名	金額	割引銀行名等	摘要
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻
	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻
	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻
	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻
	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻

・“支払銀行名”及び“割引銀行名等”の省略文字（＃等）が出力されていませんでした。

《バージョンアップ前》

帳票別印刷設定
②. 受取手形の内訳書

省略文字

振出人	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	#
支払銀行名	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	#
割引銀行名	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない	#
	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#

科目、金融機関
科目名入リタイトルで印刷する
金融機関を一段で表示する
科目行を出力する

金額欄
金額の円データを出ししない
金額空欄データを出ししない
金額の円を印字する

金額欄一括変更

旧様式内訳書
平成30年12月31日 現在

受取手形の内訳書

振出人	振出年月日 支払期日	支払銀行名	金額	割引銀行名等	摘要
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12		1,000,000		振戻
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12		1,000,000		振戻
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12		1,000,000		振戻
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12		1,000,000		振戻
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12		1,000,000		振戻

《バージョンアップ後》

帳票別印刷設定
②. 受取手形の内訳書

省略文字

振出人	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
支払銀行名	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
割引銀行名	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#
	<input type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない	#

科目、金融機関
科目名入リタイトルで印刷する
金融機関を一段で表示する
科目行を出力する

金額欄
金額の円データを出ししない
金額空欄データを出ししない
金額の円を印字する

金額欄一括変更

旧様式内訳書
平成30年12月31日 現在

受取手形の内訳書

振出人	振出年月日 支払期日	支払銀行名	金額	割引銀行名等	摘要
田中 太郎	30. 1. 1 30.12.12	〇〇銀行 ××支店	1,000,000	△△銀行 □□支店	振戻
#	30. 1. 1 30.12.12	#	1,000,000	#	振戻
#	30. 1. 1 30.12.12	#	1,000,000	#	振戻
#	30. 1. 1 30.12.12	#	1,000,000	#	振戻
#	30. 1. 1 30.12.12	#	1,000,000	#	振戻
#	30. 1. 1 30.12.12	#	1,000,000	#	振戻

⑥簡素化様式において、下記部分の省略文字（＃等）がセンタリングで出力されていなかったのを修正しました。

*④-2 貸付金及び受取利息の内訳書

- ・所在地(住所)
- ・法人・代表者との関係

*⑪ 借入金及び支払利子の内訳書

- ・所在地(住所)
- ・法人・代表者との関係

《バージョンアップ前》

貸付金及び受取利息の内訳書

貸 付 先			期 末 現 在 高 円	期 中 の 受 取 利 息 額 円	利 率 %	担 保 の 内 容 (物件の種類、数量、所在地等)
名 称 (氏名)	所 在 地 (住 所)	借 入 ・ 代 表 者 等 の 関 係				
田中 太郎	大阪府〇〇市 〇-〇〇-〇〇	関係	1,000,000	100,000	10.000	土地
"	"	"	1,000,000	100,000	10.000	土地
"	"	"	1,000,000	100,000	10.000	土地

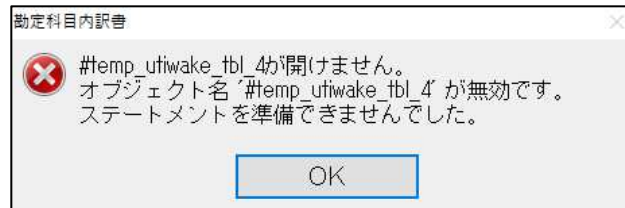
《バージョンアップ後》

貸付金及び受取利息の内訳書

貸 付 先			期 末 現 在 高 円	期 中 の 受 取 利 息 額 円	利 率 %	担 保 の 内 容 (物件の種類、数量、所在地等)
名 称 (氏名)	所 在 地 (住 所)	借 入 ・ 代 表 者 等 の 関 係				
田中 太郎	大阪府〇〇市 〇-〇〇-〇〇	関係	1,000,000	100,000	10.000	土地
"	"	"	1,000,000	100,000	10.000	土地
"	"	"	1,000,000	100,000	10.000	土地

※⑩ 借入金及び支払利子の内訳書も同様です。

⑦“④-2 貸付金及び受取利息の内訳書”を出力した際に下記エラーが表示され出力できなかったのを修正しました。(簡素化様式、旧様式どちらも現象が起きていました。)



※エラーが表示される条件

- 1.“④-1 仮払金（前渡金）の内訳書”のデータにデータがない。
- 2.“④-1 仮払金（前渡金）の内訳書”の印刷設定を以下のように設定する。
 - ・科目名入りタイトルで印刷するの☑にチェックを付ける。
 - ・金額0円(空欄)データを出力しないの☑にチェックを付ける。
- 3.印刷設定の出力形式の選択を「通常」にする。
- 4.“④-2 貸付金及び受取利息の内訳書”にデータを入力する
- 5.“④-2 貸付金及び受取利息の内訳書”を開いた状態で出力する。

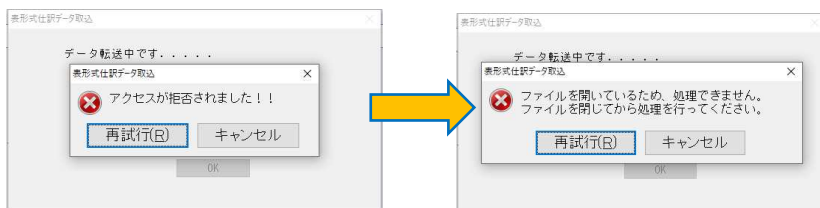
※“④-1 仮払金（前渡金）の内訳書”を開いた状態で出力するとエラーは表示されませんでした。

※“⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書”と“⑩-2 源泉所得税預り金の内訳”の組み合わせでも同じエラーが発生します。

IV. 表形式

- 1) 表形式仕訳データ取込
- 2) 表形式出納帳データ取込
- 3) 表形式振替伝票データ取込

・CSVファイルを開いている状態で「データ取込」を行うと、“アクセスが拒否されました！！”と表示していたのを、“ファイルを開いているため、処理できません。ファイルを閉じてから処理を行ってください。”のメッセージに変更しました。



以上